

平成27年度
川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書
(平成26年度実施事業)

川口市教育委員会

も く じ

■ はじめに

1 趣 旨	—	1
2 目 的	—	1
3 外部評価の対象	—	1
4 外部評価の方法と順序	—	1
5 評価の区分	—	1
6 外部評価結果	—	2
7 今後の取り組み	—	2
8 平成27年度外部評価委員	—	2

■ 平成27年度評価結果一覧

	—	3
--	---	---

■ 施策評価調書

No. 1 幼児教育の充実	—	5
No. 2 義務教育の充実	—	7
No. 3 高等学校教育の充実	—	11
No. 4 学校の教育力の向上	—	13
No. 5 学校教育施設の耐震化の推進	—	15
No. 6 社会教育施設の整備・充実	—	17
No. 7 生涯学習事業の充実	—	19
No. 8 生涯学習活動の支援	—	21
No. 9 スポーツ・レクリエーション活動の支援	—	23
No. 10 スポーツ施設の整備・充実	—	25
No. 11 文化芸術活動の支援	—	27
No. 12 文化施設の整備・充実	—	29
No. 13 文化財の保護と活用	—	31
No. 14 歴史的文書の保存と活用	—	33

はじめに

1 趣 旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

併せて、点検及び評価を行うに当たり、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、川口市教育委員会が行った事務点検・外部評価（以下「外部評価」という。）の結果をまとめたものです。

2 目 的

川口市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、効果的な教育行政の推進に資すること並びにその結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 外部評価の対象

川口市では、市政運営の指針となる「第4次川口市総合計画」を平成22年度に策定し、行政分野別計画の第2章「教育・文化」に教育行政が取り組むべき14の施策を掲げています。この施策は、年度毎に策定している教育行政重点施策とも重なっていることから、平成26年度と同様に、この14施策を外部評価の対象としました。

4 外部評価の方法と順序

「第4次川口市総合計画」に基づいた行政評価制度により職員による内部評価を行い、施策評価調書を作成しました。

この施策評価調書の各施策について教育に関し学識経験等を有する外部の方々から、ご評価をいただくとともに、ご意見、ご助言をいただきました。

5 評価の区分

「26年度における取り組みの内容」、「26年度における取り組みの成果」、「残されている課題」及び「指標の達成状況」等を総合的に判断し、下記の4つの区分にて内部評価及び外部評価を行いました。

- 「A」…施策の目的実現に向けて26年度の目標は達成されている。
- 「B」…施策の目的実現に向けて26年度の目標は概ね達成されている。
- 「C」…上記Bと比較して達成状況は低い。
- 「D」…施策の目的実現に向けて26年度の目標はほとんど達成されていない。

6 外部評価結果

全14施策の外部評価結果は、「A：達成されている」との評価が12施策、「B：概ね達成されている」との評価が2施策で、14施策全てが、内部評価と同じ又は内部評価結果よりも高い評価となりました。

委員からは、本市教育委員会において取り組んでいる全14施策について、「達成されている」又は「概ね達成されている」との評価を頂きましたが、一方で、「広く周知するよう、今後、広報活動等について検討していく必要がある」、「利用者に多様な資料を提供していける場所であるよう、今後も努めて欲しい」等の今後の改善に向けてのご意見、ご助言をいただきました。

7 今後の取り組み

教育委員会では、今回の外部評価で頂いたご意見、ご助言を元に、検討を進め、今後の事業へのフィードバックを行い、本市独自の教育行政の推進に努めていきます。

また、施策と事業について、関連性を精査し、見直しを図るなど、より分かりやすい評価を実施し、市民への説明責任を果たしていきたいと考えています。

8 平成27年度外部評価委員

(50音順 敬称略)

氏名	備考
大島 丈志	文教大学 教育学部 准教授
高須 裕樹	川口市PTA連合会
渡邊 秀人	川口市退職校長会

平成27年度評価結果一覧

章	節	施策 No.	コード	施策名	施策主管課	平成27年度							
						内部評価（職員における評価）				外部評価			
						達成 （A） されている	概ね （B） 達成されている	達成 （C） 状況は低い	ほとんど （D） 達成されて いない	達成 （A） されている	概ね （B） 達成されている	達成 （C） 状況は低い	ほとんど （D） 達成されて いない
第2章 教育・文化													
第1節 知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進													
		No.1	211	幼児教育の充実	教育総務課		○				○		
		No.2	212	義務教育の充実	指導課		○			○			
		No.3	213	高等学校教育の充実	学務課		○			○			
		No.4	214	学校の教育力の向上	指導課	○				○			
		No.5	215	学校教育施設の耐震化の推進	教育総務課	○				○			
第3節 生涯学習の推進													
		No.6	231	社会教育施設の整備・充実	生涯学習課		○				○		
		No.7	232	生涯学習事業の充実	生涯学習課	○				○			
		No.8	233	生涯学習活動の支援	生涯学習課	○				○			
第4節 スポーツ・レクリエーション活動の推進													
		No.9	241	スポーツ・レクリエーション活動の支援	スポーツ課	○				○			
		No.10	242	スポーツ施設の整備・充実	スポーツ課	○				○			
第5節 文化芸術の振興													
		No.11	251	文化芸術活動の支援	文化推進室	○				○			
		No.12	252	文化施設の整備・充実	文化推進室	○				○			
第6節 文化財の保護・活用													
		No.13	261	文化財の保護と活用	文化財課	○				○			
		No.14	262	歴史的文書の保存と活用	文化財課	○				○			
計						10	4	0	0	12	2	0	0

施策評価調書

施策No. 1

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	211	施策名称	2章1節 幼児教育の充実		
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先	2451	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

幼児が、生活や遊びの中で様々な体験を通して、情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育む。学校教育の始まりである幼稚園で、基本的な生活習慣を身に付け、学習意欲を養い、小学校生活がスムーズにスタート出来るよう教育環境の整備をする。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
教職員の資質の向上のため私立幼稚園協会等が実施した研修に対して助成を行うと共に、教育環境整備のため市内の私立幼稚園が施設改善を目的とした借入金について、その利子部分の助成を行った。また、市立幼稚園に、特色ある幼稚園づくりの推進のための人材を派遣した。一方で、幼稚園に通っている家庭に対して、就園奨励費補助金等を交付した。	幼稚園に各種補助金等を交付することにより、教職員の資質の向上や施設の整備の促進など、幼児教育の充実が図られた。また、市立幼稚園に人材を派遣することにより、特色ある幼稚園づくりが推進されるとともに、幼稚園に通園している家庭に補助金を交付することにより、家庭の経済的負担の軽減が図られ、就園の機会の拡充につながった。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

施策目的を達成するため、認可私立幼稚園・認可市立幼稚園相互の連携と、幼稚園と小学校の連携が課題となっている。

指標①	名称	私立幼稚園定員充足率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/定員数×100 過去の実績から算出							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	91.0	92.0	92.0	92.0	93.0			
	実績値・達成状況	91.5	達成	91.9	未達成	90.9	未達成	91.5	未達成
指標②	名称	就園率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	園児数/3、4、5歳児人口×100 過去の実績から算出							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	66.0	67.0	67.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	66.6	達成	66.8	未達成	66.8	未達成	67.4	達成
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「一」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	840,326	840,325	875,010	1,147,704	1,163,793
	概算人件費	20,489	20,489	15,415	15,415	14,254
	総事業費	860,815	860,814	890,425	1,163,119	1,178,047
事業費及び概算人件費の変動要因	私立幼稚園就園奨励費補助金の補助金の見直しがなされ、これまでに比べ世帯の課税額の影響を受けにくくなったこと、また、私立幼稚園園児保護者補助金、無認可幼稚園(舎)園児保護者補助金の幼児一人当たりの補助金の額が増加したことなどの理由から、事業費が増となった。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	幼稚園への各種補助金等と幼稚園等に通園している家庭への各種補助金の交付(一部補助金は平成25年度よりも増額して交付)及び人材の派遣等により、教育環境の整備を展開することができたと考えるが、2つの指標のうち、1つの指標が目標値を達成できていないため、Bと判断した。	
	(前回評価結果)		
	B		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
外部評価	幼児が生活や遊びの中で様々な体験を通して情緒的・知的な発達と共に社会性を養い、生きるための基礎を育むために、引き続き幼稚園への助成を行い教育環境の整備を進める。また、幼児が幼稚園等に通園することができるよう、保護者の経済的負担を軽減するための助成を引き続き行う必要がある。そのため、私立幼稚園園児保護者補助金等補助金及び無認可幼稚園(舎)園児保護者補助金の一人当たりの補助金の額を増額して実施していく。		
	評価結果		
	B		
(前回評価結果)			
B			

施策評価調書(2)

評価対象年度 26年度

施策コード	211	施策名称	2章1節 幼児教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	27年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2110016	私立幼稚園事務費交付金	保育課	5,985	6,024	5,982	現状維持で実施
			2,100	2,100	820	
2110026	私立幼稚園就園奨励費補助金	保育課	773,436	1,069,203	1,082,836	現状維持で実施
			6,640	6,640	7,790	
2110036	私立幼稚園園児保護者補助金	保育課	65,175	42,014	43,654	拡充して実施
			1,500	1,500	410	
2110046	私立幼稚園教育研修費補助金	保育課	11,622	11,622	11,352	縮小して実施
			400	400	820	
2110056	私立幼稚園設備資金借入利子助成金	保育課	4,471	4,069	4,773	現状維持で実施
			1,000	1,000	820	
2110066	私立幼稚園幼児等健康診断補助金	保育課	8,127	8,127	7,938	縮小して実施
			800	800	820	
2110076	無認可幼稚園(舎)園児保護者補助金	保育課	4,397	4,904	5,390	拡充して実施
			1,000	1,000	820	
2110082	幼稚園振興運営事業	指導課	170	170	170	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,640	
2110096	市立幼稚園教育研究協議会授業研究助成金	指導課	30	30	30	現状維持で実施
			0	0	0	
2110102	新しい学校のシステムづくりプラン事業(幼稚園)	学務課	1,364	1,288	1,444	現状維持で実施
			166	166	166	
2110116	学校サポートプラン交付金(幼稚園)	指導課	233	253	224	現状維持で実施
			149	149	148	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部 評価 委員 の コ メ ン ト	<p>指標は未達成のものもあるが、前年度より実績値は上がっている。また、学校サポートプランは、学校側だけでなく、ボランティアとして参加する側にとっても、非常に有意義な経験になると思われるので、広く周知するよう、今後、広報活動等について検討していく必要がある。</p>
---	---

施策No. 2

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実		
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先	2498	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

子どもたち一人一人に「生きる力」を育むため、教育内容の充実、健康教育と学校給食の充実、教育環境の整備・施設整備の充実、特別支援教育の充実、家庭・地域との連携に取り組み、子どもたち一人一人に「生きる力」を育む義務教育の充実を図る。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
子どもたちに生きる力を育むために、学力向上推進委員会、徳力向上推進委員会、体力向上推進委員会を通して学校への支援事業を進めた。また、特別支援教育や健康教育・学校給食の充実等に取り組んだ。	小中学校とともに、近年、体力向上や健康教育等において全国表彰を受ける学校が出た。また、特別支援学級の新設や学校給食の改革など一定の成果をあげることができた。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

学力向上については、平成26年度は指標となる学力調査が未実施であったため達成状況が不明であるが、前年度において中学校が未達成であったことから、引き続き各学校の児童生徒の課題に対して有効な手立てを講じる必要がある。また、体力テストでは目標値を達成しているが、これを維持・向上させるための計画的対応が必要である。

指標①	名称	基礎学力定着度(小学校)☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	県の基礎学力に関する調査(「読む・書く」と「計算」)の正答率(第6学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	96.6	達成	95.9	達成	96.7	達成	未実施	—
指標②	名称	基礎学力定着度(中学校)☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	県の基礎学力に関する調査(「読む・書く」と「計算」)の正答率(第3学年) 埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	92.1	未達成	92.0	未達成	89.6	未達成	未実施	—
指標③	名称	小中学校体力テスト結果☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	全国平均を上回っている項目数÷全項目数×100(小中学校)							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値・達成状況	52.8	達成	51.4	達成	56.3	達成	50.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	3,008,042	3,549,861	6,809,884	3,830,638	3,998,576
	概算人件費	207,936	200,568	226,253	248,305	245,513
	総事業費	3,215,978	3,750,429	7,036,137	4,078,943	4,244,089
事業費及び概算人件費の変動要因	新学校給食センター建設事業が完了したことなどによる。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	取り組みの内容や成果に関しては例年同様であるものの、指標としている学力調査が未実施であったため達成状況が不明であり、今後とも客観的データの分析による課題点の把握と、課題解決のための有効な手立ての確立が求められる。	
	(前回評価結果)	B	
	B	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	
外部評価	評価結果	「生きる力」を育むために、児童生徒の実態を把握し、課題を明らかにして、指導方法の工夫改善を促して教育内容の充実に努めるとともに、健康教育や特別支援教育の一層の推進を図る。	
	(前回評価結果)	A	
	A		

施策評価調書(2)

評価対象年度 26年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	27年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120041	放課後子供教室推進事業	生涯学習課	15,047	20,813	20,813	拡充して実施
			5,810	6,723	6,642	
2120056	川口市PTA連合会補助金	生涯学習課	1,025	1,025	1,025	現状維持で実施
			0	0	0	
2120061	小学校・中学校教科書改訂(4年に1回)に伴う事業	指導課	3,503	1,841	65,142	拡充して実施
			415	415	410	
2120071	専任講師配置事業	学務課	12,775	17,516	19,198	現状維持で実施
			830	830	820	
2120082	大貫海浜学園事業	学務課	75,339	76,597	101,048	現状維持で実施
			10,400	10,400	11,400	
2120092	水上少年自然の家事業	学務課	153,886	152,360	165,152	現状維持で実施
			24,900	24,900	24,600	
2120102	教育パブリシティプラン事業	学務課	1,118	1,163	1,231	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,640	
2120112	新しい学校のシステムづくりプラン事業	学務課	25,222	22,769	26,530	現状維持で実施
			7,802	7,802	7,708	
2120126	各種競技会全国・関東大会等派遣補助金	学務課	5,044	4,680	4,680	現状維持で実施
			415	415	415	
2120136	学校等災害見舞金	学務課	140	100	150	現状維持で実施
			0	0	0	
2120146	鼓笛隊活動助成金	学務課	1,290	1,320	1,350	現状維持で実施
			415	415	410	
2120156	部活動助成金	学務課	7,085	7,066	7,212	現状維持で実施
			398	398	394	
2120166	ブラスバンド活動助成金	学務課	7,150	7,350	7,450	現状維持で実施
			398	398	394	
2120176	記念事業費助成金	学務課	600	200	700	現状維持で実施
			0	0	0	
2120181	特別支援教育支援員配置事業	指導課	55,752	56,078	57,106	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120191	中学校理科教育振興費備品購入事業	指導課	5,036	5,040	4,845	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120202	コンピュータ教育環境整備事業	指導課	321,904	327,602	339,137	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2120222	学校教育研究支援事業	指導課	1,008	913	928	現状維持で実施
			830	830	820	
2120232	教育研修生事業	指導課	35	52	57	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120242	教育講演会事業	指導課	292	292	296	現状維持で実施
			0	0	0	
2120252	国際理解教育促進事業	指導課	73,756	69,755	72,168	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>教育の充実のため多岐にわたる事業を行っており、しっかりとした支援体制がある。学校給食費の未納など問題はあがるが、丁寧に対応している。また、平成26年度は、指標の一つである学力調査が実施されなかったため、目標の達成状況はわからないが、今後は、平成27年度より新たに始まった「埼玉県学力・学習状況調査」を指標とし、さらなる教育内容の充実に努めて欲しい。</p>
-------------	---

施策評価調書(2)

評価対象年度 26年度

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	27年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2120262	川口こども造形展事業	指導課	409	460	434	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120272	小学校学習支援事業	指導課	2,755	2,045	3,180	現状維持で実施
			830	830	820	
2120282	中卒就職者壮行会事業	指導課	80	131	132	現状維持で実施
			830	830	820	
2120292	中学校学習支援事業	指導課	509	565	730	現状維持で実施
			830	830	820	
2120302	中学生英語弁論大会事業	指導課	69	128	128	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2120312	発明創意工夫展事業	指導課	38	9	10	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120322	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	指導課	221,679	228,904	225,551	現状維持で実施
			13,695	13,695	13,530	
2120332	学力向上支援事業	指導課	88	35	71	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120342	小学校障害児送迎事業	指導課	11,778	11,880	20,000	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120352	障害児学級合同作品展事業	指導課	325	328	336	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120362	特別支援学級児童生徒就学奨励事業	指導課	7,661	6,249	9,720	現状維持で実施
			830	830	820	
2120372	障害児就学支援事業	指導課	435	666	654	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2120382	きらり川口夢わーく社会体験事業	指導課	648	693	764	現状維持で実施
			830	830	820	
2120416	音楽鑑賞教室補助金	指導課	5,700	5,700	5,700	現状維持で実施
			0	0	0	
2120426	各教科等授業研究会助成金	指導課	450	450	450	現状維持で実施
			0	0	0	
2120436	川口市教育研究会助成金	指導課	178	178	178	現状維持で実施
			0	0	0	
2120446	職業教室開催補助金	指導課	122	122	122	現状維持で実施
			830	830	820	
2120456	川口市学校体育協会助成金	指導課	30	30	30	現状維持で実施
			0	0	0	
2120462	自動体外式除細動器管理事業	学校保健課	3,123	2,923	2,988	拡充して実施
			830	830	820	
2120471	学校給食食器改善事業	学校保健課	73,341	5,839	5,970	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,640	
2120482	学校保健普及啓発事業	学校保健課	2,281	2,326	2,276	現状維持で実施
			1,720	1,720	1,640	
2120492	学校給食指導研修事業	学校保健課	200	260	229	現状維持で実施
			1,660	1,660	1,640	
2120516	心臓検診補助金	学校保健課	70	202	540	効率化して実施
			860	860	820	
2120526	川口市学校保健会補助金	学校保健課	1,200	1,100	1,100	現状維持で実施
			860	860	820	
2120563	(仮称)教育センター建設事業*	指導課	0	0	0	休止
			0	0	0	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策No. 3

施策評価調書(1)

評価対象年度	26年度
--------	------

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実		
主担当	学校教育部	学務課	問い合わせ先	2507	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>地域発展の一翼を担い、地域の文化を支える人材を育成する教育活動を推進する。</p>

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
<p>市立高校3校に各1人の就職カウンセラーを配置し、就職支援を行い、また、経済的な理由により修学が困難な生徒に対して奨学資金貸付事業を実施した。</p> <p>さらに、新市立高等学校建設事業を本格的に開始した。</p>	<p>経済的支援を行ったことにより多くの生徒に修学の機会を与えることができたこと、また、高校生活が充実したものとなるよう学習の支援とともにクラブ活動等への助成及び生徒一人一人にあった卒業後の進路の支援を行った。</p>

<p>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</p> <p>これまでの取り組みや支援の状況を踏まえ、可能な限り各事業を充実させる必要がある。</p> <p>また、新市立高等学校建設事業においては、慎重な資金計画が必要であるとともに、生徒数の大幅な削減をすることとなるため、周辺の県立高校への受入について、県教育委員会との調整をしなければならない。</p>
--

指標①	名称	就職内定率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	就職内定者÷就職希望者×100 過去の就職内定率の推移から100%を目標に就職支援を行っている。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	100.0	達成	100.0	達成	100.0	達成	98.0	未達成
指標②	名称	大学進学率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	市立3高校(全日制)における 大学・短期大学の進学者数÷在籍者数 × 100							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0			
	実績値・達成状況	64.2	達成	63.5	達成	61.4	達成	57.2	未達成
指標③	名称	奨学資金貸付人数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	奨学金貸付人数+入学一時金貸付人数 貸付人数							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	587.0	631.0	600.0	546.0				
	実績値・達成状況	587.0	達成	631.0	達成	600.0	達成	546.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	250,964	251,269	250,008	235,713	784,606
	概算人件費	8,251	8,251	41,451	58,051	65,552
	総事業費	259,215	259,520	291,459	293,764	850,158

事業費及び概算人件費の変動要因	<p>奨学資金貸付において、市直接の貸し出しを金融機関からの融資へと見直したことにより、事業費が大きく減額したものの、新市立高校建設事業が開始されたため、事業費及び人件費が大きく増になったことに伴い、総事業費も増となったもの。</p>
-----------------	---

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B	<p>奨学資金貸付事業においては、目標値を達成しているものの、就職率及び進学率について、若干目標値に達していなかったことからB評価としたもの。</p>	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
<p>財政状況を勘案しながら、可能な限り各事業の充実を図っていくとともに、目標を達成できるよう就職内定率及び大学進学率が向上するよう努めていく。</p>			A
			(前回評価結果)
		A	

施策No. 4

施策評価調書(1)

評価対象年度	26年度
--------	------

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上		
主担当	学校教育部	指導課	問い合わせ先	2498	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>生きる力を育むためには、学校の教育力の向上を図ることが大切である。そこで、海外派遣や市内施設を活用した特色ある教育活動の充実を図る。また、教職員の資質・指導力の向上を図るための職員研修の充実を図るとともに児童生徒の不登校やいじめに対応するため教育相談の充実を図る。</p>

<p>26年度における取り組みの内容</p> <p>特色ある教育活動の充実をめざして、海外派遣事業、ジュニア議会、校外学習など児童・生徒に魅力ある事業を提供した。また、学校経営、教科指導、生徒指導など様々な分野の研修や教育相談の充実を図った。</p>	<p>26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</p> <p>本市の特色ある教育活動の推進や、教員の能力を高める教員研修の充実、その他、児童生徒の学習意欲や興味を喚起する事業など教育力の向上に寄与しているものと考えられる。</p>
--	---

<p>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</p> <p>教員の資質向上のための継続した研修プログラムの充実・改善が必要である。また、いじめ、不登校、非行などの課題解決のため、引き続き教育相談等の体制整備や各分野の研究が必須である。さらに、本市独自の特色ある教育活動を進めるため、児童生徒の学習意欲や興味を喚起する魅力ある事業研究が必要となる。</p>

指標①	名称	不登校率(小学校)				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	全児童数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	0.31	0.31	0.30	0.30	0.30			
	実績値・達成状況	0.30	達成	0.34	未達成	0.24	達成	0.24	達成
指標②	名称	不登校率(中学校)				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	全生徒数に対する年間30日以上欠席者の割合 県平均・全国平均不登校率							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3.60	3.40	3.30	3.20	3.20			
	実績値・達成状況	3.59	達成	3.80	未達成	3.25	達成	2.90	達成
指標③	名称	教員研修満足度				単位	%	指標の種類	成果
	指標の説明・算定式	教職員研修における満足度調査においてアンケート調査を実施し、「概ねよい」以上の評価を得た割合(H23年度より実施)							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00			
	実績値・達成状況	96.5	達成	96.6	達成	96.3	達成	97.8	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	168,822	156,574	157,103	158,226	165,882
	概算人件費	64,591	62,931	62,931	62,931	62,320
	総事業費	233,413	219,505	220,034	221,157	228,202

事業費及び概算人件費の変動要因	各事業について費用の見直しを行っているほか、事業実施コスト等の変動による。
-----------------	---------------------------------------

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	特色ある教育活動の充実、教職員研修の充実、教育相談の充実のための各事業についてそれぞれ一定の成果が見られた。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
各学校における課題を明らかにし、指導方法や教材の工夫改善を研究し、学校の特色に応じた教育力の向上に取り組む。			A
			(前回評価結果)
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 26年度

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	27年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2140012	通学区自由化プラン事業	学務課	2,956	3,241	3,554	現状維持で実施
			13,280	13,280	13,120	
2140026	学校サポートプラン交付金	指導課	8,648	8,830	7,280	効率化して実施
			4,831	4,831	4,920	
2140035	中学生海外派遣補助事業	指導課	6,626	6,498	6,606	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140045	高校生海外派遣補助事業	指導課	8,682	8,442	8,462	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140052	ジュニア議会事業	指導課	153	158	178	現状維持で実施
			830	830	820	
2140062	校外学習事業	指導課	28,027	29,912	37,650	縮小して実施
			4,150	4,150	4,100	
2140072	学校ファーム推進事業	指導課	897	777	700	現状維持で実施
			830	830	820	
2140082	その他教育研修事業	指導課	447	405	496	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140092	課題研究事業	指導課	15	100	106	現状維持で実施
			830	830	820	
2140102	学校経営研修事業	指導課	277	262	260	現状維持で実施
			830	830	820	
2140112	情報基礎教員研修事業	指導課	63	76	108	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140132	教育相談支援員活用事業	指導課	44,816	44,778	44,336	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140142	教育カウンセラー活用事業	指導課	17,747	17,521	17,891	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2140152	教育相談員活用事業	指導課	34,489	33,974	34,666	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,200	
2140162	不登校児童生徒適応支援事業	指導課	839	780	1,003	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2140172	日本語補充教室事業	指導課	403	419	494	現状維持で実施
			830	830	820	
2140182	訪問相談員活用事業	指導課	608	643	682	現状維持で実施
			830	830	820	
2140196	文化交流使節団派遣事業交付金	指導課	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			0	0	0	
2140206	非行防止対策協議会補助金	指導課	60	60	60	現状維持で実施
			0	0	0	

注)事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	いじめや不登校に関する問題は、すぐに件数を減らすのは難しいが、教育相談等の体制も整備されており、学校と教育委員会が連携して解決できるような体制で取り組んでいる。海外派遣補助事業やジュニア議会事業のように、市独自の取り組みも充実しており、高く評価できる。
-------------	--

施策No. 5

施策評価調書(1)

評価対象年度	26年度
--------	------

施策コード	215	施策名称	2章1節 学校教育施設の耐震化の推進		
主担当	生涯学習部	教育総務課	問い合わせ先	2454	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>学校教育施設は、地震発生時において児童生徒の安全を確保することはもとより、地域住民の一時的な避難場所ともなることから、平成7年6月16日に制定された地震防災対策特別措置法に基づき、耐震化の推進を図るもの。</p>
--

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
<p>神根小学校は解体・改築工事、幸町小学校は実施設計・解体工事、前川小学校は実施設計、旧元郷南小学校及び旧芝東小学校は解体工事、十二月田中学校は改築工事・武道場天井落下防止対策工事、安行中学校及び幸並中学校は実施設計、戸塚西中学校は武道場天井落下防止対策工事を実施。</p>	<p>十二月田中学校新校舎完成及び神根小学校建替工事開始に伴い、目標値97.0%を達成。</p>

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)
<p>学校施設の耐震化は一時的に多大な財政支出を要するため、財政状況を勘案しながら、地震防災対策特別措置法による平成27年度までの補助の特例を効果的に活用し、耐震化を進める必要がある。</p>

指標①	名称	小・中学校耐震化整備事業				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震化棟数÷学校施設総数×100 小・中学校耐震化整備計画事業							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(28年度)			
	目標値	80.4	92.9	96.6	97.0	100.0			
	実績値・達成状況	82.0	達成	93.2	達成	96.6	達成	97.0	達成
指標②	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	2,854,318	2,848,048	1,524,115	1,398,199	6,254,317
	概算人件費	9,545	9,545	10,624	19,422	17,015
	総事業費	2,863,863	2,857,593	1,534,739	1,417,621	6,271,332

事業費及び概算人件費の変動要因	小中学校耐震補強計画及び教育施設整備計画に基づき実施
-----------------	----------------------------

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

内部評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	小・中学校耐震化整備計画に基づき、26年度の目標値を達成したため。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
財政状況を勘案したうえで、計画に基づき残りの耐震化を進めるよう努める。			A
			(前回評価結果)
		A	

施策No. 6

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2461	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民が地域社会で生涯にわたり、学び続け、生きがいつくり、自己実現を可能にすること。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
公民館は地域に密着した社会教育施設として整備し、地域住民の学習支援と自主的に活動している社会教育関係団体等の育成・支援をした。図書館は、市全域を対象とし、誰もが気軽に利用できる生涯学習施設として、機能の充実を図った。科学館は、プラネタリウムの機器の借上を行った。	公民館の講座参加者数は、芝西公民館耐震工事の為の閉館で減少してしまったが多種多様な講座の実施、また、施設の安全性の確保も計画的に進めることができた。図書館は、計画的な資料の収集・保存に努め、市民の要求に対し、的確に資料・情報を提供することができた。科学館は、安定した投影と質の高い映像を提供することができた。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

公民館の施設は、利用者数が横ばい状態となっており、利用者が固定化する傾向になる。また、老朽化している施設・機器については、計画的に補修等を進める。図書館は、図書館資料の精選と充実を図ることが課題である。科学館は、新しい機器に対する情報が少ないため、情報を共有し、研修を重ねる必要がある。

指標①	名称	公民館・専門施設の講座参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	公民館・専門施設の講座参加者数を合計したもの 第4次川口市総合計画の目標指標							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	263000.0	261000.0	268000.0	269000.0	280000.0			
	実績値・達成状況	256629.0	未達成	277967.0	達成	259297.0	未達成	256756.0	未達成
指標②	名称	図書館資料貸出数(定置館分)☆				単位	点	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	図書館資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標指標より移動図書館及び文庫分を除いたもの							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	3300000.0	3300000.0	3400000.0	3500000.0	3740000.0			
	実績値・達成状況	3144163.0	未達成	3314980.0	達成	3232051.0	未達成	3183692.0	未達成
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達成を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	702,949	772,473	799,351	1,014,636	1,420,282
	概算人件費	323,600	317,950	284,668	294,936	310,376
	総事業費	1,026,549	1,090,423	1,084,019	1,309,572	1,730,658

事業費及び概算人件費の変動要因 耐震補強事業件数の増加や、事務量の見直し等のため

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	B (前回評価結果)	公民館の講座参加者数は、公民館耐震工事の為の閉館で減少してしまったが、多種多様な講座の実施、また、施設の安全性の確保も計画的に進めることができた。図書館については、中央図書館で蔵書数の増加に伴い図書館特別休館日を増やし、休館日増加のために貸出数は減少したが、指標はほぼ達成されており、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	B		

総合評価	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	
	市民の生涯学習活動を推進するため、多様な学習機会の提供と社会教育施設の設備、機能の充実を図る。	
	外部評価	評価結果 B (前回評価結果) B

施策評価調書(2)

評価対象年度 26年度

施策コード 231 施策名称 2章3節 社会教育施設の整備・充実

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	27年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2310022	施設予約システム事業	生涯学習課	0	1,250	0	現状維持で実施
			2,490	4,980	3,116	
2310042	公民館施設運営事業	生涯学習課	168,480	175,024	176,932	現状維持で実施
			6,142	7,719	7,626	
2310052	婦人会館施設運営事業	生涯学習課	489	589	621	現状維持で実施
			11,850	10,690	19,200	
2310062	青少年会館施設運営事業	生涯学習課	284	464	466	現状維持で実施
			11,850	10,690	19,200	
2310072	文化会館施設運営事業	生涯学習課	771	652	792	現状維持で実施
			15,480	10,150	4,576	
2310082	中央ふれあい館施設運営事業	生涯学習課	1,398	1,326	1,201	現状維持で実施
			13,740	15,360	16,320	
2310152	図書館施設運営事業	中央図書館	440,354	448,888	439,643	現状維持で実施
			213,570	219,660	224,840	
2310223	アスベスト対策事業(横曽根図書館)*	中央図書館	0	0	0	休止
			0	0	0	
2310301	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	中央図書館	118,680	123,558	121,245	現状維持で実施
			4,150	4,150	4,100	
2310323	図書館耐震診断事業	中央図書館	6,699	2,246	0	完了
			1,660	1,660	0	
2310341	プラネタリウム改修事業	科学館	25,669	24,361	24,361	現状維持で実施
			2,408	0	0	
2310353	栄町公民館((仮称)幸栄公民館)建替事業	生涯学習課	-	0	414,471	現状維持で実施
			-	0	0	
2310363	社会教育施設耐震補強事業	生涯学習課	1,890	236,278	240,550	現状維持で実施
			0	9,877	11,398	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

補足	<p>指標②「図書館資料貸出数(定置館分)」と施策コード232、施策名称「2章3節 生涯学習事業の充実」に記載されている、指標②「図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)」を合算したものが第4次川口市総合計画に記載されている図書館資料貸出数となる。</p>
外部評価委員のコメント	<p>公民館の講座については、参加者の人数の推移や分布の傾向から市民のニーズをよく把握し、幅広い世代の人に参加してもらえるように、さらに工夫していく必要がある。また、図書館はレファレンスの役割も担っているので、その蔵書は偏ることなく、利用者に多様な資料を提供していける場所であるよう、今後も努めて欲しい。</p>

施策No. 7

施策評価調書(1)

評価対象年度	26年度
--------	------

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先 2461

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか) 市民一人ひとりが主体的に学ぶ「ふれあって 学ぶ生涯 人づくり」を本市のキャッチフレーズとし、自発的、主体的にいつでも学べる多種多様な講座、さらに専門性の高い分野や現代的課題等の学習機会の提供に努め、市民一人ひとりが正しい知識と技術を身につけることを目的としている。また、近くに図書館がない市民にもサービスの提供を図るとともに、子どもたちには、発達段階に応じたおはなし会を開催するなど、多様な方々に学習の機会を提供する。

26年度における取り組みの内容 川口市民大学は、市内外の高等教育機関や社会教育施設と協力し、一般教養や専門的知識を学ぶ講座のほか、技能を高める講座や現代的課題等をとりあげる講座を開催した。図書館は、移動図書館の巡回や文庫運営事業を行うとともに、おはなし会などを開催した。補足へ	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと) 市民大学は、高等教育機関と連携し共催することにより、質の高い講座が開催できた。図書館は、高齢者や幼児・児童など、なかなか図書館に来られない市民に身近な図書館サービスを提供できた。おはなし会等主催事業も好評。科学館は、テーマが異なる特別展ごとに、新たな利用者を獲得できた。
--	---

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること) 「自発的、自主的にいつでも誰もが」という生涯学習の基本理念を基に、個人の学習成果を地域社会に活かせる環境づくりや、支援体制を充実させ、市民の知的欲求に応えることが今後の課題になっている。科学館は、利用者ニーズに十分応えられる施設として機能充実を図るために、老朽化してきている展示装置を更新していく必要がある。

指標①	名称	川口市民大学事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	定員に対する応募者数							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	120.3	達成	104.4	達成	97.7	未達成	115.0	達成
指標②	名称	図書館資料貸出数(移動図書館及び文庫分)☆				単位	点	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	移動図書館及び文庫の資料貸出数の合計 第4次川口市総合計画の目標より定置館分を除いたもの							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	90000.0	100000.0	110000.0	110000.0	120000.0			
	実績値・達成状況	90652.0	達成	124149.0	達成	122611.0	達成	131572.0	達成
指標③	名称	科学館事業参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	科学館の各事業参加者数の合計							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0	140000.0			
	実績値・達成状況	142198.0	達成	166066.0	達成	156441.0	達成	170019.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	76,755	76,709	80,938	73,153	71,124
	概算人件費	91,819	91,819	93,632	97,280	99,386
	総事業費	168,574	168,528	174,570	170,433	170,510
事業費及び概算人件費の変動要因	変動なし					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	指標は達成されており、子どもから大人まで多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	B		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向	市民に多様な学習機会を提供するため、若い世代に目を向けた事業を展開するなど、幅広い世代に向けたサービスの提供を図る。 図書館は、移動図書館・文庫の資料の充実を図り、市民の知的要求に応える。また、主催事業の充実を図りPRに努める。 科学館は、利用者ニーズに十分に込えられる施設として機能充実を図るために、老朽化してきている展示装置を更新していく必要がある。		
外部評価	評価結果	A	
	(前回評価結果)	B	

施策No. 8

施策評価調書(1)

評価対象年度	26年度
--------	------

施策コード	233	施策名称	2章3節 生涯学習活動の支援		
主担当	生涯学習部	生涯学習課	問い合わせ先	2461	

<p>施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>市民が、公民館を利用した相互学習の成果発表や、また、公民館や図書館で実施する各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に活かし、お互いの生きがいがいづくりに繋げていくことを目的としている。</p>

<p>26年度における取り組みの内容</p> <p>生涯学習社会の中で、市民が公民館や図書館等の社会教育施設を活用して、各種講座で身につけた知識や技術を地域社会等へ提供した。また、相互学習の成果発表を通じて他の人々の学習意欲を高めた。</p>	<p>26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)</p> <p>公民館は、各種講座で取得した知識や技術を人材バンクに登録し地域への貢献活動により、お互いの生きがいがいづくりに繋がった。また、図書館は、読み聞かせボランティア及び点訳・音訳ボランティアの技術の向上に努め、図書環境の向上が図れた。</p>
--	---

<p>残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)</p> <p>市民に対して限りある財源の中で活動を支援するには、内容が充実した事業の展開の他に、自己の生活の向上や、職業上の能力の向上、自己の充実に結びつく事業の実施が必要である。</p>

指標①	名称	人材バンク魅学登録者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	年度ごとの登録者数 過去3年間の登録者数の平均値を目標値とした。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0			
	実績値・達成状況	202.0	達成	193.0	未達成	210.0	達成	232.0	達成
指標②	名称	公民館地区文化祭参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各公民館地区文化祭の参加人数 過去5年間の実績を参考に目標値を算定した。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	40000.0	45000.0	45000.0	45000.0	45000.0			
	実績値・達成状況	43237.0	達成	51135.0	達成	45115.0	達成	46911.0	達成
指標③	名称	ボランティア研修会参加者数				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	読み聞かせボランティア講座・音訳研修会・点訳研修会の延べ参加人数の合計。過去3年間の実績を参考に目標値を算定した。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	600.0	700.0	700.0	700.0	800.0			
	実績値・達成状況	676.0	達成	797.0	達成	736.0	達成	739.0	達成

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達成を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	4,509	4,370	4,109	4,326	4,491
	概算人件費	9,130	9,130	9,130	9,130	9,020
	総事業費	13,639	13,500	13,239	13,456	13,511
事業費及び概算人件費の変動要因	変動なし					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	指標は、すべて達成されており、多くの市民が生涯学習活動を活発に進めている。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
今後も、多くの市民の生涯学習活動を支援し、地域の教育力の向上や自己の充実が図られる事業を実施していく。 また、ボランティア研修会については、定期的な養成講座とその後のフォローアップ講座などを継続的に行ない、生涯学習社会を見据えた取り組みを充実させる。			A
			(前回評価結果)
		A	

施策No. 9

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民の健康志向が益々高まりを見せている中、より多くの方がスポーツ・レクリエーション活動事業に参加する機会を増やすため、各種スポーツ団体の活動を支援し、組織の充実を図るもの。また、生涯にわたって親しむスポーツの普及のため、スポーツ・レクリエーション指導者の育成・充実を図ることを目的とするもの。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
川口市内を活動拠点とする市民団体、(公財)川口市体育協会に加盟している団体に対して、レクリエーションの普及啓発事業、競技選手の育成事業に関する事業を支援することにより、団体の活性化を図った。	スポーツ・レクリエーションの各事業に多くの方が参加できるよう各種広報を展開するなどの情報提供に努め、年々参加者数が増加していることからスポーツ・レクリエーション活動の推進に寄与したものの。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

日常生活の中でスポーツを楽しむことが容易になってきたようだが、より参加しやすい内容への改善や多様化するニーズに対応できるスポーツ活動の環境を整える必要がある。

指標①	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計 前年度実績値によるもの(ただし、種目により増加が見込めるものは前年度の1割)							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	54944.0	55358.0	56022.0	56694.0	57400.0			
	実績値・達成状況	55034.0	達成	55407.0	達成	56479.0	達成	59025.0	達成
指標②	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計/当初見込参加者数×100 最大参加率							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	97.0	97.0	98.0	99.0	100.0			
	実績値・達成状況	97.0	達成	97.0	達成	98.4	達成	102.8	達成
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	157,378	157,594	228,636	159,057	159,185
	概算人件費	73,457	74,007	75,877	74,457	70,398
	総事業費	230,835	231,601	304,513	233,514	229,583
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A (前回評価結果)	川口市の世代間交流や体力づくりへの意欲向上となる機会を提供し、多くの方に参加を通じ、スポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただくことが事業の趣旨と考え評価したものである。	
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
外部評価	更なる各種の広報活動を行い多くの方にスポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただけるよう検証・研究し、継続して生涯スポーツの普及や市民スポーツの推進に努めていくものである。また、競技スポーツにおいても支援を行っていく。		
	評価結果		
	A (前回評価結果) A		

施策評価調書(2)

評価対象年度 26年度

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援
-------	-----	------	-------------------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	27年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2410012	流水プール場・アイススケート場運営事業	グリーンセンター	98,549	63,520	63,020	現状維持で実施
			9,350	9,800	9,800	
2410022	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	スポーツ課	1,690	1,737	1,987	現状維持で実施
			830	830	820	
2410032	各種体育大会開催事業	スポーツ課	359	325	274	現状維持で実施
			166	166	164	
2410042	川口市体育三賞事業	スポーツ課	284	325	333	現状維持で実施
			2,241	2,241	2,214	
2410052	市民選手権大会事業	スポーツ課	5,671	5,971	5,206	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,200	
2410062	川口マラソン大会事業	スポーツ課	13,777	13,777	12,109	現状維持で実施
			8,300	8,300	8,200	
2410072	都市交歓スポーツ大会事業	スポーツ課	5,656	6,007	5,885	現状維持で実施
			830	830	820	
2410092	市民体育祭事業	スポーツ課	830	1,078	0	他事業に統合されて実施
			3,320	3,320	0	
2410102	スポーツ教室開催事業	スポーツ課	1,360	957	1,303	現状維持で実施
			20,750	20,750	20,500	
2410122	スポーツ推進委員事業	スポーツ課	13,303	14,446	12,973	現状維持で実施
			4,980	4,980	4,920	
2410136	学校体育奨励交付金	スポーツ課	2,158	2,073	2,323	現状維持で実施
			830	830	820	
2410146	体育協会事業交付金	スポーツ課	24,997	24,997	28,847	現状維持で実施
			3,320	3,320	3,280	
2410156	レクリエーション協会事業交付金	スポーツ課	2,800	2,800	3,878	現状維持で実施
			830	830	820	
2410166	スポーツ少年団事業交付金	スポーツ課	1,249	1,200	1,200	現状維持で実施
			830	830	820	
2410176	社会体育奨励交付金	スポーツ課	13,135	12,771	12,771	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2410186	県代表選手派遣交付金	スポーツ課	2,900	3,110	2,796	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2410196	スポーツレクリエーション傷害見舞金	スポーツ課	173	173	360	現状維持で実施
			2,490	2,490	2,460	
2410206	ソーデーマーチ実行委員会交付金	スポーツ課	2,000	1,900	1,700	現状維持で実施
			830	830	820	
2410216	スポーツ推進委員協議会事業交付金	スポーツ課	1,320	1,890	2,220	現状維持で実施
			830	830	820	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部 評価 委員 の コ メ ン ト	<p>世代を問わず誰もがスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、多種多様な事業を行っている。本市においては、昔からスポーツ活動が盛んな面もあり、各事業への参加率も高いので、今後も、多くの市民に参加してもらえるようにスポーツ事業の拡充を図って欲しい。</p>
---	--

施策No. 10

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	スポーツ課	問い合わせ先	2476	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

本市は、伝統的にスポーツが盛んで多くのスポーツ団体が設立され、さらに市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識も高まっており、そのニーズのひとつである施設整備の充実を図るとともに、市民スポーツの活性化を促進し、健康・体力づくりやスポーツ人口の拡大を図るもの。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
指定管理者制度を導入している青木町公園総合運動場・体育武道センター及び戸塚スポーツセンターにおいては、引き続き民間ノウハウの活用で施設の有意義な管理運営に努めた。また、施設整備においては、2施設の耐震診断を行い、他の施設においても安心・安全な施設の管理運営に必要な修繕を行った。	地域コミュニティの拠点施設としての運営ができ、専門的分野のスポーツの推進に貢献した。また、耐震診断事業では、施設の安全確保を計画的に進めることができた。他の施設においても安心・安全な施設の管理運営に必要な修繕を行ったことにより、施設の不備等による事故は無かった。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

指定管理者においては、市民の健康・体力づくりやスポーツに対する需要に応える質の高い市民サービスをどのように展開していくかが課題である。経年劣化が進んで、施設の整備、改修及び設備機器の更新を計画的に進める必要があるが、限られた財源で全てを実施することは困難である。予算の範囲で安心・安全な管理運営を行っていく。

指標①	名称	スポーツ施設の利用稼働率				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	利用単位数/利用可能単位数×100							
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
目標値	63.3	66.0	67.0	67.5	68.0				
実績値・達成状況	65.1 達成	66.3 達成	67.0 達成	67.5 達成					
指標②	名称	耐震診断施設数				単位	施設	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	耐震診断実施済み施設数の累計(新耐震基準適合施設含む)/耐震診断対象施設(13施設)							
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
目標値	7.0	7.0	10.0	12.0	13.0				
実績値・達成状況	7.0 達成	7.0 達成	10.0 達成	12.0 達成					
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
目標値									
実績値・達成状況									

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
事業費		1,036,367	1,069,507	1,098,473	1,084,158	1,029,808
概算人件費		93,940	93,940	97,882	95,185	37,920
総事業費		1,130,307	1,163,447	1,196,355	1,179,343	1,067,728
事業費及び概算人件費の変動要因	事業費においては、予算編成時にその情勢を鑑み増減するもの。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A (前回評価結果)	スポーツを通して体力づくりや仲間づくりをしたいという市民ニーズは増加傾向にあり、今後も安全で快適なスポーツ活動の場を整備していく必要がある。平日の夜間や土・日・祝日の利用が抽選になっていることなどから、施設への利用状況は全体的に高いものと言える。指標は達成されており、多くの市民が体力づくりに活発になってきている。	
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向			
安心・安全な施設の管理運営を継続的に行い、多くの利用者がスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう環境づくりをするものである。			
外部評価	評価結果		
	A		
	(前回評価結果)		
A			

施策No. 1 1

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	251	施策名称	2章5節 文化芸術活動の支援		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

総合文化センターやアートギャラリーなどを文化振興の拠点としての役割を担う中核施設として位置づけ、市民に優れた文化芸術に触れる機会や創作体験の場を提供するとともに、文化芸術を担う人材の発掘・育成や文化ネットワークの構築を図ることにより、市民の誰もが「ゆとりと潤い」を実感できる心豊かな市民生活の創出を目指す。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
文化三賞の顕彰や、文化活動に対する助成制度、文化団体への補助事業などにより文化芸術活動を担う人材の育成を促進した。また、美術展、ピアノコンクール、文化祭などの実施や市民コンサートや旧田中住宅での落語会などを実施した。	市内の文化芸術活動を担う人材の発掘や育成を促進し、文化芸術ネットワークの構築を図った。また、市民に対し各種文化芸術事業の鑑賞や創作体験の機会を提供したことで、文化芸術の振興に寄与することが出来た。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

市内の各種文化団体会員の高齢化が徐々にではあるが進んできており、今後団体が行う文化芸術活動などによる地域の活性化や各種文化芸術の継承等に関して影響が出ることが予想される。

指標①	名称	文化芸術活動を担う人材の登録者数☆				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	文化団体のほか、市内を拠点として文化芸術活動を行っている人材の登録者数 毎年度30人程度の増加を見込む。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	710.0	740.0	770.0	800.0	800.0			
	実績値・達成状況	759.0	達成	822.0	達成	853.0	達成	864.0	達成
指標②	名称	鑑賞者の満足度				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	各事業の来場者にアンケートを取り、満足度を尋ねる。満足と回答とした来場者の割合。(平成24年度から実施)							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況		95.1	未達成	90.2	未達成	86.6	未達成	
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達成を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	21,727	21,727	27,257	25,704	19,820
	概算人件費	32,204	32,204	27,805	25,232	24,360
	総事業費	53,931	53,931	55,062	50,936	44,180
事業費及び概算人件費の変動要因	活力ある地域づくり助成金等を実施しなかったこと等による事業費の減少。また、職員体制や業務の見直しによる概算人権費の減少。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A (前回評価結果)	文化団体連合会、美術家協会、市民音楽協会等の団体の高齢化は依然として進行してはいるが、各団体において若手の活躍も見られるようになってきている。また、鑑賞者の満足度調査の結果に関しても目標としていた100%には届かなかったものの80%を超える割合で満足との回答を得ることが出来たため。	
	A		
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		
	各種文化事業や文化芸術団体の支援を継続して実施することにより、今後も市民の文化芸術への関心や意欲を高めていく。また、若い世代の人材の発掘、育成を推進していく。		
外部評価	評価結果	A	
	(前回評価結果)	A	
		A	

施策評価調書(2)

評価対象年度 26年度

施策コード	251	施策名称	2章5節 文化芸術活動の支援
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	25年度	26年度	27年度	27年度の 取り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	事業費 概算人件費	
2510012	芸術賞賞賜事業	文化推進室	432	981	899	現状維持で実施
			2,075	2,905	2,952	
2510022	文化振興基金活用事業	文化推進室	1,898	2,366	2,076	拡充して実施
			2,324	2,490	2,378	
2510032	市民コンサート事業	文化推進室	280	1,220	796	効率化して実施
			2,324	2,324	2,542	
2510042	歴史的建造物活用事業	文化推進室	149	987	820	拡充して実施
			3,320	2,241	2,296	
2510096	初午太鼓コンクール交付金	文化推進室	1,260	1,260	1,260	現状維持で実施
			415	415	498	
2510106	文化祭実行委員会交付金	文化推進室	3,540	3,440	3,440	現状維持で実施
			2,490	2,905	2,624	
2510116	美術展実行委員会交付金	文化推進室	2,430	2,430	2,430	拡充して実施
			2,490	2,905	2,952	
2510126	青少年ピアノコンクール実行委員会交付金	文化推進室	3,180	3,180	3,180	拡充して実施
			2,490	2,905	2,952	
2510136	川口市文化団体連合会補助金	文化推進室	189	189	189	現状維持で実施
			415	415	533	
2510146	川口市民音楽協会補助金	文化推進室	1,350	1,350	1,350	現状維持で実施
			415	415	533	
2510156	かわぐち音楽の日実行委員会交付金	文化推進室	2,800	2,800	2,700	現状維持で実施
			415	415	984	
2510166	地域の芸術環境づくり助成事業	文化推進室	3,000	5,000	500	縮小して実施
			1,494	747	984	
2510192	旧芝園中学校アトリエ利用事業	文化推進室	0	180	180	現状維持で実施
			1,494	2,075	2,132	
2510201	伊奈半十郎忠治像建立事業	文化推進室	-	321	0	休止
			-	2,075	0	

注) 事業名称の末尾に「*」が記されている事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

外部評価委員のコメント	<p>全体的に非常に良い事業を行っているので、今後もさらに拡充して行って欲しい。また、事業の内容や運営方法について、現状を踏まえて変更しながら充実に向け進めている点も、高く評価できる。</p>
-------------	--

施策No. 1 2

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	252	施策名称	2章5節 文化施設の整備・充実		
主担当	生涯学習部	文化推進室	問い合わせ先	2112	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

本市の文化芸術の中心的な施設であるアートギャラリーをハード・ソフトの両面から整備・充実し、市民の文化芸術の鑑賞や創作体験の場を提供すると共に市民の幅広い文化芸術活動の活性化を図る。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
魅力ある文化芸術の鑑賞事業や創作体験の場を提供するため、アートギャラリーでの企画展やワークショップの実施した。	アートギャラリーにおいては春・夏・秋の企画展、アーティスト・イン・スクールの成果発表、アートな年賀状展、新鋭作家展等を実施することが出来た。また、貸館事業に関しても多くの方々に利用していただくことが出来た。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

アートギャラリーについては開館から9年が経過し、更なる内容の充実を図るために既存の事業を再検討する必要があると思われる。

指標①	名称	アートギャラリーの利用率☆				単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	アートギャラリー(展示室A・B、スタジオ)の利用率 アートギャラリーの利用率を毎年1.0%引き上げる。							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0			
	実績値・達成状況	92.3	達成	91.2	達成	96.5	達成	96.5	達成
指標②	名称					単位	%	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「-」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	20,980	20,980	24,787	23,157	20,489
	概算人件費	18,675	18,675	18,675	18,765	18,450
	総事業費	39,655	39,655	43,462	41,922	38,939

事業費及び概算人件費の変動要因

企画展の展示に係る委託料が減少したため。

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由	
	A	アートギャラリーについては「川口の匠vol.4 麗のとき」などものづくりの街・川口を市内はもとより市外、県外の方々に発信できた展覧会を行うなど、指標の目標値を上回ったため。	
	(前回評価結果)		
	A		
評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向		外部評価	評価結果
今後も、アートギャラリーの事業の周知、来場促進のための広報活動の強化に努めるなど、工夫して取り組んでいく。			A
			(前回評価結果)
		A	

施策No. 1 3

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	261	施策名称	2章6節 文化財の保護と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	2222421	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

貴重な文化財や伝統文化、さらには文化的・歴史的資料の保存・活用に努めるとともに、市民に情報を提供することにより、地域に根ざした市民文化を振興し、市民が郷土の歴史と文化に対して誇りと愛着をもてる地域社会の実現を目指す。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
文化財に関する調査や事業の情報を市民に提供するための報告会や講演会、展示会等を開催し、また、文化財活用事業として、社会科見学、歴史教室等の学校支援事業を実施した。一方、補助金や交付金を通して、指定文化財の維持管理の支援を行った	報告会・展示会等を通して、文化財の保護活用に関する様々な調査や事業に関する情報を市民にいち早く提供することができ、小学校・中学校の授業の支援を行うことで、児童・生徒の文化財愛護の精神を養うことができた。また、補助金・交付金を通して、指定文化財の保護につなげることができた。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)

本市の貴重な歴史遺産である「赤山城跡」を保存し次世代へと継承するためには、赤山城跡保存整備事業の推進は必要であるが、用地取得を含め多額の費用を要する。また、インターネット等の媒体を通して指定文化財や見学ルートを紹介するなど、市民が文化財の魅力を知り、より身近に感じられる存在となるよう情報提供に努める必要がある。

指標①	名称	文化財調査報告会開催事業				単位	人	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	報告会の参加者人数 募集人数							
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0				
実績値・達成状況	72.0	達成	64.0	達成	38.0	未達成	66.0	達成	
指標②	名称	赤山城跡保存整備事業				単位	m ²	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	赤山城跡保存整備事業用地の購入面積(25年度は休止)							
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
目標値	638.1	1040.7	0.0	1190.3					
実績値・達成状況	638.1	達成	1040.7	達成	0.0		1489.9	達成	
指標③	名称	指定文化財補助金および交付金				単位	件	指標の種別	活動
	指標の説明・算定式	指定文化財の維持管理に係る補助金および交付金の件数							
年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)				
目標値	52.0	81.0	81.0	86.0	86.0				
実績値・達成状況	52.0	達成	78.0	未達成	82.0	達成	84.0	未達成	

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	55,034	50,193	20,121	113,318	9,399
	概算人件費	10,084	10,084	6,930	10,096	6,888
	総事業費	65,118	60,277	27,051	123,414	16,287
事業費及び概算人件費の変動要因	平成26年度は、文化財センターの耐震工事を実施したため事業費が大幅に増となった。					

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由					
	(前回評価結果)	A	文化財調査報告会については、平成26年度は交通の利便性の良い会場に変更し参加者の増を図った。赤山城跡保存整備事業の用地取得については、平成26年度は2ヶ所の購入を行った。指定文化財補助金については維持管理のための交付金を辞退した団体が2団体あったため、未達成となった。				
	C						
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向						
	文化財など地域の歴史遺産や伝統文化の保存と継承には、中・長期的な観点から取り組みを計画的に実施することが必要である。また近年、歴史まちづくり法が施行されるなど文化財保護行政は関連部局との連携が要求されるようになってきたことから、これに対応できるよう多方面から事業を検討する必要がある。						
外部評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> </tr> <tr> <td>(前回評価結果)</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> </tbody> </table>			評価結果	A	(前回評価結果)	B
評価結果							
A							
(前回評価結果)							
B							

施策No. 14

施策評価調書(1)

評価対象年度 26年度

施策コード	262	施策名称	2章6節 歴史的文書の保存と活用		
主担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	2523587	

施策目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)
 古文書等の史料調査、収集、保管、管理を行うとともに、データベース化を図り、また、解説を行い活字化することで、市民の利活用に供することを目的とする。

26年度における取り組みの内容	26年度における取り組みの成果(施策目的の達成に寄与したこと)
かつて、市史編さん事業において収集(寄贈・寄託等)した古文書の解説及びデータベース化の推進を図る。	データベース化することで、収蔵資料の検索が容易にできるようになった。

残されている課題(施策目的を達成するうえで障害になっていること)
 古文書史料を解説し、活字化(出版)を推進することにより、市民の利活用に供することを目的とするが、史料に記載されている個人情報や不適切用語の処理等が検討課題である。また、不足している古文書解説者の確保や古文書を管理する設備が不十分であることも大きな課題である。

指標①	名称	古文書解説事業				単位	件数	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	所蔵未発表古文書等の解説件数							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	45.0	20.0	30.0	18.0	10.0			
	実績値・達成状況	45.0 達成	20.0 達成	30.0 達成	18.0 達成				
指標②	名称	古文書史料・写真資料データベース化				単位	点数	指標の種別	成果
	指標の説明・算定式	データ化予定点数 現在の所蔵古文書等・写真のデータ化							
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値	58000.0	80000.0	57000.0	20000.0	100000.0			
	実績値・達成状況	58113.0 達成	80742.0 達成	57009.0 達成	26636.0 達成				
指標③	名称					単位		指標の種別	
	指標の説明・算定式								
	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

* 総合計画の推進管理のために定めた目標指標には、名称の最後に☆印を記載しています。
 * 「達成状況」: 目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」、天災等による未達を「—」、目標値設定なしを空欄としています。

事業額	(単位:千円)	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額	26年度決算見込額	27年度予算額
	事業費	5,146	5,146	6,030	5,676	5,712
	概算人件費	4,233	4,233	4,233	4,233	4,182
	総事業費	9,379	9,379	10,263	9,909	9,894
事業費及び概算人件費の変動要因						

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	内容、成果、課題、指標から判断した評価結果の理由				
	A	古文書・写真のデータベース化及び解説事業が予定どおりの点数を終了し、達成しているため。				
	(前回評価結果)					
	A					
	評価結果(内容、成果、課題、指標)をふまえた今後の取り組み方向					
古文書等の史料の調査、収集、保管、管理、さらにはデータベース化を進めるとともに、収集した古文書を、解説し活字化することで市民が利活用しやすいようにする。						
外部評価	評価結果					
	A					
	(前回評価結果)					
A						

